福生三中だより

令和８年１０月３０日発行　No.6

學校教育目標
１ よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
２ ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
３ 責任を果たし、みんなのために働く生徒
４ 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒
校訓　　礼 節

「日々の積み重ね」

校 長　増 木 一 仁

今年度の合唱コンクールは、２年生の学級閉鎖に伴い、１０月２２日と１０月２８日の２日に分けて開催しました。両日とも多くの保護者や地域の皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。当初は２年生のみで後日開催とすることを考えましたが、２年生の合唱を全校で聴くことに大きな価値があると考え、１０月２８日も全校参加で実施しました。

今年のスローガンは「百花斉放 ～声で描く、満開の瞬間～」でした。どの学級も限られた時間の中で練習を重ね、仲間と心を一つにして、本番ではそれぞれの「花」を見事に咲かせてくれました。

特に３年生は、全校合唱から学校全体をリードし、学年合唱では下級生を圧倒する歌声を響かせました。さらに学級合唱では、どのクラスも甲乙つけがたい完成度の高い発表を披露し、三中の最高学年としての姿を示してくれました。

昨年の学校だよりで「２年生、来年は最上級生として学年、クラスともに下級生を圧倒する合唱を披露してくれることを期待しています」と書きました。今年、その期待にしっかり応える姿を見ることができ、３年間の成長の大きさをあらためて実感しました。

これから進路選択・決定の大切な時期を迎えますが、自信をもって力強く歩んでほしいと思います。

今年も 2010 年甲子園で沖縄・興南高校野球部を春夏連覇に導いた我喜屋優監督の言葉を紹介します。「小さな積み重ねをおろそかにする者に、大きな仕事はできない」

この言葉は、日々の努力の尊さを教えてくれます。目立たないこと、地道なこと、時には面倒に感じることもあるかもしれません。しかし、そうした一つひとつの積み重ねが、やがて大きな成果へとつながっていくのです。また、我喜屋監督はこうも語っています。「睡眠をきちんととって、朝から体を動かして、ご飯をしっかり食べる。五感を常によく使っていれば、いざというときの判断力、第六感まで働くものです。」

学びも、生活も、そして人との関わりも、すべては日々の積み重ねの中にあります。目立たない努力ほど、後になって大きな力となります。

季節は秋から冬へと移り変わります。これからも一日一日を大切にしながら、２４２名がそれぞれの目標に向かって着実に歩んでいくことを期待しています。（裏面割愛）